

# 第236回大分県外科医会例会

日時：令和元年12月14日(土) 14:00～17:40

場所：大分県立病院 3階 講堂  
大分市豊饒476番地

[1] 開会のあいさつ：大分県立病院 外科 宇都宮 徹 (14:00～14:05)

[2] 一般演題 (14:05～16:55)

I. 胸部 座長：高祖 英典 先生 (大分医療センター 外科) 【14:05～14:30】

(1) 胸腺癌が疑われた硬化性縦隔炎の一治療例

大分大学 呼吸器・乳腺外科

辛島高志、野田大樹、安部美幸、阿南健太郎、宮脇美千代、武内秀也、岡本龍郎、杉尾賢二

(2) 胸骨部分切開下に切除、再建した胸腔内型右鎖骨下動脈瘤の1例

別府医療センター 心臓外科<sup>1</sup>、血管外科<sup>2</sup>、外科<sup>3</sup>

永島瞭太郎<sup>1</sup>、森田雅人<sup>1</sup>、竹林 聡<sup>1</sup>、井上健太郎<sup>2</sup>、田尻裕匡<sup>3</sup>、高山洋臣<sup>3</sup>、田中仁寛<sup>3</sup>、福山誠一<sup>3</sup>、  
久米正純<sup>2</sup>、江頭明典<sup>3</sup>、松本敏文<sup>3</sup>、川中博文<sup>3</sup>、矢野篤次郎<sup>3</sup>

(3) 肺結核治療後13年を経て発症した胸囲結核の1例

新別府病院 呼吸器外科<sup>1</sup>、杵築中央病院<sup>2</sup>、西別府病院 内科<sup>3</sup>

山田知徳<sup>1</sup>、橋本崇史<sup>1</sup>、三浦 隆<sup>1</sup>、中城正夫<sup>2</sup>、瀧川修一<sup>3</sup>

II. 消化管1・その他 座長：吉住 文孝 先生 (大分赤十字病院 外科) 【14:30～14:55】

(4) 成人腸回転異常を伴う急性虫垂炎の一例

国東市民病院 外科

天野翔太、廣石和章、田原光一郎

(5) 肛門病変治療後に判明したCrohn病の一例

膳所胃腸肛門泌尿器病院

原 貴生、林秀一郎、重光祐司、膳所憲二

(6) 女性外科医のライフワークバランス～中津市民病院での9年間を振り返って～

中津市民病院 呼吸器外科<sup>1</sup>、外科<sup>2</sup>

倉光絵梨奈<sup>1</sup>、福山康朗<sup>1</sup>、河波政吾<sup>2</sup>、豊田 怜<sup>2</sup>、前田翔平<sup>2</sup>、一万田充洋<sup>2</sup>、永松敏子<sup>2</sup>、永田茂行<sup>2</sup>、  
甲斐成一郎<sup>2</sup>、折田博之<sup>2</sup>、是永大輔<sup>2</sup>

[3] 壮年外科医のコーナー

【15:00～15:30】

座長：新別府病院 菊池 暢之 先生

(1) 「EBMの手法を用いて診療を行った17年前に経験した妊娠期乳癌の一例」

大分大学医学部 呼吸器・乳腺外科 武内 秀也

(2) 「門亢症外科と内視鏡外科」

大分県立病院 外科 板東 登志雄

(休憩：15:30～15:40)

III. ヘルニア 座長：田尻 裕匡 先生 (別府医療センター 外科) 【15:40～16:05】

(7) 横行結腸間膜にRichter型ヘルニア嵌頓を来した一例

大分県厚生連鶴見病院 消化器外科

田島隆弘、嵯峨邦裕、野口琢矢、柴田浩平、藤富 豊

(8) 当院におけるヘルニア手術の検討

酒井病院

二日市琢良、酒井昌博、有永信哉、酒井啓一郎

(9) 腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術 (LPEC 法) について

大分県立病院 小児外科

江角元史郎 森口智江 福原雅弘 大西 峻

**IV. 肝胆膵 座長：坂田 一仁 先生 (大分県立病院 外科) 【16:05~16:30】**

(10) 膵癌関連遺伝子 ASAP2 の新たな治療標的としての可能性

九州大学病院別府病院 外科

内田博喜、藤井昌志、大里祐樹、中野貴文、小斉啓祐、小林雄太、高橋純一、倉光正太郎、安東由貴、松本佳大、大津 甫、増田隆明、三森功士

(11) 肺小細胞癌の治療経過中に発見された十二指腸神経内分泌腫瘍の1例

大分赤十字病院 外科

河原大和、北川雅浩、岩城堅太郎、佐々木駿、栗原 健、川崎貴秀、吉住文孝、實藤健作、廣重彰二、福澤謙吾、本廣 昭

(12) 腹腔鏡下脾温存尾側膵切除術を行った膵インスリノーマの1例

大分大学 消化器・小児外科<sup>1</sup> 総合外科・地域連携学講座<sup>2</sup> 国際医療戦略研究推進センター<sup>3</sup>

皆尺寺悠史<sup>1</sup>、増田 崇<sup>2</sup>、藤永淳郎<sup>1</sup>、中沼寛明<sup>1</sup>、多田和裕<sup>1</sup>、平下禎二郎<sup>1</sup>、遠藤裕一<sup>1</sup>、岩下幸雄<sup>1</sup>、太田正之<sup>3</sup>、白石憲男<sup>2</sup>、猪股雅史<sup>1</sup>

**V. 消化管 2 座長：柴田 智隆 先生 (大分大学 高度救命救急センター) 【16:30~16:55】**

(13) 盲腸に局限した壊死型虚血性大腸炎の1例

新別府病院 外科

田島正晃、安藤克敏、菊池暢之

(14) 大腸癌傍大動脈リンパ節転移を閉塞起点とした絞扼性イレウスの1例

大分医療センター 外科

是久翔太郎、渡邊公紀、梅田健二、高祖英典、矢田一宏、椛島 章、穴井秀明

(15) 術中 ICG 蛍光法によるリンパ流評価を行なった上行結腸癌の1例

大分県立病院 外科

藤島 紀、中村 駿、坂田一仁、堤 智崇、野田美和、増田隆伸、米村祐輔、寺師貴啓、増野浩二郎、佐々木淳、板東登志雄、宇都宮徹

**[4] 特別講演 (17:00~17:40) 司会：別府医療センター 矢野 篤次郎 先生**

**1. 当院における原発性肺癌に対する完全鏡視下リンパ節郭清**

大分県立病院 呼吸器外科 蒲原 涼太郎

**2. ここまで来た心臓血管外科～その最前線とこれから～**

大分県立病院 心臓血管外科 山田 卓史

※1. 発表時間5分、討論3分 時間厳守をお願いします。

※2. 抄録は演題名、所属 (所属が異なれば改行)、発表者、共同発表者、抄録本文の順に邦文ワープロ (フォント 10.5 MS 明朝、1行 25 字詰 16 行※16 行には演題名・所属・発表者含む) で記入してください。  
・発表者及び共同発表者は日本臨床外科学会会員に限りませんので、未入会者は記載しないでください。  
・提出先：大分県外科医会事務局 ([gekaikai@oita-u.ac.jp](mailto:gekaikai@oita-u.ac.jp)) にメールにてご提出下さい。  
・提出期限：例会終了後1ヶ月以内

※3. 本会は日本医師会生涯教育制度適合学会に指定されています。

当番： 大分県立病院 外科 宇都宮 徹  
e-mail: [t-utsunomiya@oitapref-hosp.jp](mailto:t-utsunomiya@oitapref-hosp.jp)